

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年7月15日
【四半期会計期間】	第21期第1四半期（自平成26年3月1日至平成26年5月31日）
【会社名】	株式会社ガリバーインターナショナル
【英訳名】	GULLIVER INTERNATIONAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 羽鳥 兼市
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 東京ビルディング
【電話番号】	(03)5208-5503
【事務連絡者氏名】	経理・財務セクションリーダー 松本 雅之
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 東京ビルディング
【電話番号】	(03)5208-5503
【事務連絡者氏名】	経理・財務セクションリーダー 松本 雅之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第1四半期連結 累計期間	第21期 第1四半期連結 累計期間	第20期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 5月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 5月31日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
売上高 (百万円)	45,729	38,845	169,398
経常利益 (百万円)	1,913	1,507	7,201
四半期(当期)純利益 (百万円)	1,227	910	4,360
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,235	910	4,377
純資産額 (百万円)	30,210	32,971	32,846
総資産額 (百万円)	53,200	49,616	52,779
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	12.11	8.99	43.01
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	12.11	8.98	43.00
自己資本比率 (%)	56.8	66.4	62.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれておりません。

3. 当社は、平成25年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、第20期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績等

当第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年5月31日）における全直営店の買取台数及び販売台数は、消費増税による一時的な反動減の影響を受け、前年同期比マイナスとなりました。しかしながら、反動減による中古車の買い控え感も底を打ち、アウトレット、LIBERALA（リベラーラ）、SNAP HOUSE（スナップハウス）、ガリバーミニクルといった展示販売店舗のオープンが寄与し販売台数に占める小売台数は増加しました。

直営店店舗数は前期末より8店舗純増し、312店舗となりました。

販管費及び一般管理費は、直営店の店舗数増加に伴い運営費用が増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高38,845百万円（前年同期比15.1%減）、営業利益1,476百万円（前年同期比22.2%減）、経常利益1,507百万円（前年同期比21.2%減）、四半期純利益910百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

[資産の部]

当第1四半期連結会計期間末の資産の部合計は、49,616百万円（前期末比6.0%減）となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加（前期末比911百万円増）した一方、商品が減少（前期末比2,267百万円減）したことや、受取手形及び売掛金が減少（前期末比2,649百万円減）したことなどにより、29,214百万円（前期末比12.7%減）となりました。

固定資産は、建物及び構築物が増加（前期末比600百万円増）したことや、建設仮勘定が増加（前期末比409百万円増）したことなどにより、20,402百万円（前期末比5.6%増）となりました。

なお、売掛金のうち2,845百万円は、連結子会社である株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスにおける売掛金（金融債権）になります。

[負債の部]

当第1四半期連結会計期間末の負債の部合計は、16,644百万円（前期末比16.5%減）となりました。

流動負債は、預り金が増加（前期末比99百万円増）した一方、未払法人税等が減少（前期末比1,695百万円減）したことなどにより、10,167百万円（前期末比24.8%減）となりました。

固定負債は、6,477百万円（前期末比1.1%増）となりました。

[純資産の部]

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部合計は、利益剰余金が増加（前期末比126百万円増）したことなどにより、32,971百万円（前期末比0.4%増）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000,000
計	400,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年7月15日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	106,888,000	106,888,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	106,888,000	106,888,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年7月1日から、この四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成26年3月1日～ 平成26年5月31日		106,888		4,157		4,032

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,520,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式101,337,000	1,013,370	同上
単元未満株式	普通株式 31,000	-	同上
発行済株式総数	106,888,000	-	-
総株主の議決権	-	1,013,370	-

【自己株式等】

平成26年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ガリバーインターナショナル	東京都千代田区丸の内二丁目7番3号東京ビルディング	5,520,000	-	5,520,000	5.16
計	-	5,520,000	-	5,520,000	5.16

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,688	15,599
受取手形及び売掛金	7,163	4,514
商品	9,414	7,147
繰延税金資産	1,210	963
その他	1,046	1,048
貸倒引当金	59	58
流動資産合計	33,463	29,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,586	16,295
減価償却累計額	5,605	5,714
建物及び構築物(純額)	9,981	10,581
車両運搬具	215	198
減価償却累計額	185	191
車両運搬具(純額)	30	6
工具、器具及び備品	2,740	2,749
減価償却累計額	2,165	2,144
工具、器具及び備品(純額)	575	604
土地	218	218
建設仮勘定	184	593
有形固定資産合計	10,989	12,004
無形固定資産		
ソフトウェア	993	1,048
その他	17	175
無形固定資産合計	1,011	1,223
投資その他の資産		
投資有価証券	3	3
関係会社株式	435	36
長期貸付金	251	251
敷金及び保証金	3,319	3,389
建設協力金	2,812	2,987
繰延税金資産	253	242
その他	302	326
貸倒引当金	62	62
投資その他の資産合計	7,315	7,173
固定資産合計	19,316	20,402
資産合計	52,779	49,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,852	1,920
短期借入金	-	88
未払金	1,721	1,794
未払法人税等	2,116	420
預り金	98	197
賞与引当金	440	48
商品保証引当金	1,817	1,272
その他	4,478	4,424
流動負債合計	13,525	10,167
固定負債		
長期借入金	4,000	4,060
長期預り保証金	741	743
役員退職慰労引当金	474	482
資産除去債務	1,191	1,191
固定負債合計	6,407	6,477
負債合計	19,933	16,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,032	4,032
利益剰余金	28,548	28,674
自己株式	3,975	3,975
株主資本合計	32,761	32,888
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	80	79
その他の包括利益累計額合計	80	79
新株予約権	4	4
純資産合計	32,846	32,971
負債純資産合計	52,779	49,616

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
売上高	45,729	38,845
売上原価	36,676	29,453
売上総利益	9,053	9,391
販売費及び一般管理費	7,157	7,915
営業利益	1,896	1,476
営業外収益		
受取利息	28	3
為替差益	4	0
受取補償金	-	8
その他	11	29
営業外収益合計	45	41
営業外費用		
支払利息	22	10
その他	6	0
営業外費用合計	28	10
経常利益	1,913	1,507
特別利益		
関係会社事業損失引当金戻入額	49	-
その他	-	0
特別利益合計	49	0
特別損失		
固定資産除却損	26	20
特別損失合計	26	20
税金等調整前四半期純利益	1,935	1,487
法人税、住民税及び事業税	929	317
法人税等調整額	222	258
法人税等合計	707	576
少数株主損益調整前四半期純利益	1,227	910
四半期純利益	1,227	910

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,227	910
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7	0
その他の包括利益合計	7	0
四半期包括利益	1,235	910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,235	910

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、東京マイカー販売株式会社及びGulliver East, Inc.は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、Gulliver Europe Ltd.は清算終了したため、持分法適用の範囲から除外しております。

(会計上の見積りの変更)

保証付車両の修繕による損失に備えるため、保証期間に係る保証見積り額を過去の実績に基づき計上しておりましたが、相当程度の修繕実績をもって、より精緻な見積りが可能となったため、見積りの変更を行いました。

この結果、従来の方と比べて、当第1四半期連結累計期間の売上原価が622百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額増加しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
広告宣伝費	1,042百万円	1,051百万円
業務委託料	285	339
給料手当	2,052	2,154
賞与引当金繰入額	43	45
減価償却費	296	340
地代家賃	1,244	1,305

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
減価償却費	296百万円	340百万円
のれんの償却額	- 百万円	2百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月30日 定時株主総会	普通株式	476	47.00	平成25年2月28日	平成25年5月31日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当金額については、基準日が平成25年2月28日であるため、平成25年5月1日付の株式分割(1:10)は加味していません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	810	8.00	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

(注) 株式分割後の株数にて算出しております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

当社グループの事業区分は中古車販売事業及びこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	12円11銭	8円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,227	910
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,227	910
普通株式の期中平均株式数(千株)	101,368	101,367
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	12円11銭	8円98銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	18	24
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、平成25年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年7月14日

株式会社ガリバーインターナショナル

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 善孝 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 小野 潤 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中田 啓 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ガリバーインターナショナルの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ガリバーインターナショナル及び連結子会社の平成26年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。